



こくろうよなご

第11号
2024年1月25日
発行責任者 倉下文明
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

新春団結旗開き開催 力を合わせて難局を乗り越えよう！



旗開きは、吾郷書記の司会ではじまり、地方本部を代表して倉下委員長より「昨年は2件の労災死亡事故が発生した。働くうえで何をしても安全が第一であり、職場の点検を強化していきたい。24春闘では、物価高を上回る賃上げによる生活改善、職場の労働条件改善に向け奮闘していきたい。現在、各自治体を周り、ローカル線問題などについて意見交換を取組んでいる。公共交通網の整備が、各自治体の喫緊の課題であり、今後も連係しながらローカル線を守る運動の強化を図

年明け早々の1月7日、米子地方本部は「新春団結旗開き」を開催してきました。コロナ禍前の2020年以來の開催となりましたが、多くの組合員・家族・来賓の皆様に参加頂き、安全問題をはじめ、24春闘・ローカル線問題・選挙闘争・国労の将来展望など当面する課題について、組織が一丸となって奮闘していく決意を固め合っていました。

旗開きは、吾郷書記の司会ではじまり、地方本部を代表して倉下委員長より「昨年は2件の労災死亡事故が発生した。働くうえで何をしても安全が第一であり、職場の点検を強化していきたい。24春闘では、物価高を上回る賃上げによる生活改善、職場の労働条件改善に向け奮闘していきたい。現在、各自治体を周り、ローカル線問題などについて意見交換を取組んでいる。公共交通網の整備が、各自治体の喫緊の課題であり、今後も連係しながらローカル線を守る運動の強化を図

戦争を始めさせてはダメ！

新春団結旗開きに先だち、恒例の「新春学習会」を開催しました。今年も、モデルであり定住旅行家としても活躍中の「ERIKO」さんより、講演を頂きました。

「ERIKO」さんは、「定住旅行家」として世界の様々な地域で現地の人々の家庭に入り、生活を共にし、その暮らしや生き方を伝えられてきています。今回の講演では、昨年9月から3週間滞在した戦禍の真つただ中にあるウクライナの日常を中心に講演して頂きました。

ウクライナ渡航にあたって、随分悩んで、一度はキャンセルを考えたようですが、現地の方からの声掛けもあり、結局行く決断をされたという事でした。恐怖心もありながら、現地の様子を知らず、伝えたいという気持ち



方向性を見いだせる年にして行きたい。課題は山積みだが、元気で力を合わせて難局を乗り越えようではありませんか」と決意も含めて挨拶がありました。その後、来賓の方々よりご挨拶を頂き、懇親に入っていました。懇親の途中では、米

御来賓・メッセージを寄せて頂いた皆さま

- 立憲民主党鳥取県総支部連合会 湯原 俊二様
- 立憲民主党島根県総支部連合会 角 智子様
- 高橋敬幸法律事務所 高橋 敬幸様
- 中国労働金庫米子支店 西山 恵子様
- こくみん共済COOP鳥取推進本部 大橋 晃大様
- 鉄道退職者の会米子地方連合会 頼田 幸穂様
- 国鉄労働組合西日本本部 植田 重信様

ありがとうございました。

の熱さあつてこそその渡航であると感じました。ウクライナの様子については、平常に生活を送る中にも、「戒厳令が引かれ徴兵の為、18歳から60歳までの男性の出国検査が厳しい」「スパイ活動をとり締まるため夜間の外出は禁止」「ロシアが国内に進出してきた場合に備えて、道路の案内表示などは全て消されている」などから、戦時中であることを感じたと言われていました。一昨年2月にロシアの侵略が始まり、まもなく2年になろうと

していますが、ウクライナ国民の意識は「平和ではなく、戦争の勝利である」と言われていました。講演を聞きながら、「一度始まった戦争は、そう簡単には終わらない」「戦争を始めさせてはいけない」と強く感じました。

